

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	ながおか医療生活協同組合	代表者	羽賀 正人	法人・事業所の特徴	長岡市内で複数の診療所や多数の高齢者施設を運営する医療生活協同組合が平成19年に開設した小規模多機能型居宅介護施設である。認知症対応型共同生活介護が併設されている他、同じ法人の介護付(混合型)有料老人ホームも隣設されており、互いに協力・連携して運営されている。また、経営母体の診療所とは日頃から緊密な連絡をとり情報を共有し、適切な医療が受けられるよう支援している。
事業所名	プラット笹崎	管理者	田中 太一		

出席者	市町村職員	1人	知見を有するもの	1人	地域住民・地域団体	1人	利用者	1人	利用者家族	1人	地域包括支援センター	1人	近隣事業所	0人	事業所職員	3人	その他	0人	合計	9人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取り組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	<ul style="list-style-type: none"> 「運営推進会議を活用した評価」の理解を深めるため、評価前に学習会を開催する。 前年度の改善計画において、実践できなかった計画、実践が不十分であった改善計画は、引き続き新年度においても実践する。 	<ul style="list-style-type: none"> 評価を行う前に学習会を開催し、評価項目を全職員が理解した上で評価が行えた。 前年度実践できなかった改善計画を、新年度に実践した。 	<ul style="list-style-type: none"> 定期的な職員の異動があるので、毎年評価前に学習会を開催して欲しい。 取組みが行えなかった計画は、次年度に実践すると良い。 	<ul style="list-style-type: none"> 自己評価についての研修を継続し、理解を深め自己評価を行う。
B. 事業所のしつらえ・環境	<ul style="list-style-type: none"> 季節の植物を花壇に植えたり、野菜を育て利用者や職員と一緒に収穫し召し上がっていただき、四季を感じ取っていただく。 	<ul style="list-style-type: none"> 菜園には季節の食物や野菜を植え、利用者から四季を感じていただいた。 	<ul style="list-style-type: none"> 地域ボランティアの受け入れ、広報誌の配布を継続している。 利用している方々の表情の良さから、居心地がよい空間に思う。 フロアでのご利用者の表情が、穏やかだと感じます。 不快な声や匂いは、気になった事はない。 会議出席時、鍵が掛かっていることを、確認している。 ホールの空間は、アットホームな飾りつけになっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 季節に合った飾りつけや、居心地のよい空間作りに努める。 玄関や菜園など清潔感のある明るい環境を保ち、地域の方々や来訪者が入りやすい事業所を目指す。
C. 事業所と地域のかかわり	<ul style="list-style-type: none"> 地域で開催しているオレンジカフェに利用者やその家族、職員が参加し、地域の方から事業所を知って頂く機会、相談の場とする。 地域の方々のボランティアを受け入れ、関係を築く。 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者や職員がオレンジカフェに参加し、地域の方との関わりから、サービスの利用に至った。 地域の方々のボランティア(将棋・編み物)を受け入れ、関係構築が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 会議出席時や利用者家族アンケートから、職員が挨拶できていることを、確認した。 事業所からの発信やボランティア等を通じ、地域から知られている存在だと思えます。 周知活動やご利用者・ご家族の評価から、地域から頼られている事業所であると思える。 地域の方の利用の件数が増えていることから、事業所は相談しやすい場所と思う。 イベントなどは広報を通じて報告される。 	<ul style="list-style-type: none"> 参加可能な地域行事やイベント等には積極的に参加し、地域との関わりの継続を目指す。
D. 地域に向いて本人の暮らしを支える取り組み	<ul style="list-style-type: none"> コミュニケーションセンターで開催される文化祭、小学校行事への参加を関係者へ連絡調整し参加する。 	<ul style="list-style-type: none"> 関係者から理解を得て、文化祭や小学校行事へ参加し、交流が図れた。 	<ul style="list-style-type: none"> 個々の外出支援を行っている。 季節感のある場所への外出が、度々行なわれていると思う。 相談件数は増えているが、近所の方は不明である。 運営推進会議に地域の方が参加している 	<ul style="list-style-type: none"> 利用者個々の馴染みのある商店での買い物や受診等に職員が付き添うことで、暮らしを支えつつ、住み慣れた地域での暮らしを支えていく。 回覧板等から地域資源の情報を得て、可能な範囲で活用している。

	<p>●運営推進会議の際は、活動の様子を写真や制作した作品を見て頂き事業所の取組みや、利用者の声（感想）を報告し、活発な意見交換の場とする。</p> <p>●新規で利用される方のサービスの利用前後の課題、サービス利用中の利用者の課題等、会議にて報告し、出された意見を事業所会議にて検討し反映する。</p>	<p>●活動の様子・利用者の声を写真等で報告し、意見交換が行えた。</p> <p>●困難事例等、運営推進会議にて報告し、構成員からの意見を事業所会議にて検討しケアに反映した。</p>	<p>●運営推進会議でオレジンカフェアに参加している報告を受けている。</p> <p>●問題や課題提起がない為、事例検討にはなっていない。</p> <p>●地域の文化祭や小学校との交流に取り組まれている。</p> <p>●改善に繋げるような意見がお伝えできていない。</p> <p>●構成員からの意見が少ないように、感じます。</p> <p>●イベントなどは広報を通じて報告される。</p> <p>●あれば報告されるが、現状は事例がない。</p> <p>●避難訓練を回覧板やポスティングで地域に呼び掛けている。</p> <p>●会議で出された意見を、積極的に改善に向け取り組んでいる。</p>	<p>●コミュニティセンターで開催される文化祭に、利用者が作成した作品を展示して頂き参加する。</p> <p>●運営推進会議で掲載した意見等は、今後の事業所運営に取り入れ、サービスの向上に繋げる。</p>
<p>E. 運営推進会議を活かした取り組み</p>		<p>●地域で開催している防災訓練に参加し、事業所としての役割を再確認できた。</p> <p>●事業所で開催する「AED講習会」「避難訓練」へ参加してもらえよう、地域向け広報誌を活用し発信したが、参加は叶わなかった。</p>	<p>●計画書の提示がある。</p> <p>●地域とともに防災に取り組まれていると思う。</p> <p>●火災・水害の訓練に参加しました。</p> <p>●毎年、運営推進会議開催時に訓練を行い、参加している。</p> <p>●事業所の役割を地域の訓練で確認している。地域に頼りにされていると感じます。</p> <p>●災害時に事業所が頼りになるよう、改善に取り組み工夫されている。</p>	<p>●各種防災計画書等は、最新のハザードマップの情報や法令に適合する内容であるように、定期的な見直しや更新を継続する。</p> <p>●事業所で開催する「AED講習会」「避難訓練」へ参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内を行う。</p>
<p>F. 事業所の防災・災害対策</p>	<p>●地域で開催している防災訓練へ参加する。</p> <p>●事業所で開催する「AED講習会」「避難訓練」へ参加してもらえよう、地域向け広報誌にて案内を行う。</p>			